

進むインフラ整備

いばらきの港に追い風

茨城港日立港区の有効活用

日産自動車SCM本部 車両部品物流部部长 木内 哲也氏



当社の国内における輸出車両の生産拠点は、栃木工場(栃木県上三川町)や追浜工場(神奈川県横浜須賀野市)などの自社工場および生産委託工場など、計5カ所6工場を有しています。工場で作った車両を出荷する拠点は、本牧専用埠頭(横浜市中区)など4カ所あり、このうち茨城港日立港区を2010年5月から運用しています。

当社では、自動車の部品調達、生産から運送までの工程のあらゆるコストを表す「TDC(トータルデリバリーコスト)」をもとに、世界のどの工場でもモデルの自動車をつくるのかを決めています。日立港区利用

流においても二酸化炭素排出量の削減を目指してあり、栃木工場から本牧の埠頭までと比べて日立港区までのほうが年間排出量を1000t以上削減できます。また、本牧と日

柔軟な対応力、高い機動性

日立港区を活用する有効性に

茨城県における拡大理由

中国木材常務取締役 営業本部長 鹿島工場工場長 堀川 保彦氏



当社は広島県呉市に本社を構え、従業員数2000人弱のうち鹿島工場(茨城県神栖市)ではその約4分の1の従業員が一緒に働いています。事業内容は、木材の製材および販売、乾燥の製造販売、集成材の製造販売、プレカット加工、パイオマス発電などです。

鹿島工場では2014年4月より非住宅向けの大断面集成材を製造しており、昨今では幼稚園や小学校など大規模な構造の建物に使用されています。

主な材料は米国から輸入した米松で、広島工場(広島県呉市)と鹿島工場(神栖市)で製造販売しています。このほか、国

産材にも力を入れています。全国に四つの製造拠点、八つの販売拠点を開設し、お客さまに対して供給体制を整えています。

昨今、海外から多くの安価な商品が輸入され、世界との競争を余儀なくされています。木材も例外ではなく、コストダウンをしなければ世界と戦えないと判断しました。具体的には、製材棟と加工棟を建てられる広大な敷地、原木運搬コスト低減のために大型船舶が停泊可能で、かつ製品を運搬するためにマケットに近い位置で内航船の利便が可能な港が必要でした。以上

木材輸送コスト・時間削減

う削減するかがカギとなります。

ますます近くて便利になる「いばらきの港」 ～より便利に、より速く、より環境に優しく～



茨城港
日立港区
完成自動車、バラ貨物等の多様な物流需要に対応する港

常陸那珂港区
北関東自動車道と直結! コンテナ、国内外RORO貨物に対応する港
世界各地と結ぶRORO航路、コンテナ航路や北海道、北九州と結ぶ国内RORO航路

大洗港区
フェリー・旅客船を中心に、マリナーなどのレクリエーション機能も充実した港

鹿島港
国内最大級のコンビナートの海上輸送基地として、鹿島臨海工業地帯を支える港

「いばらきの港」が選ばれる理由

茨城港

- 北海道向けフェリー・ROROサービスが週31便と、北と結ぶ抜群な輸送力
- ～北関東から翌日には北の大地へ～
- 北関東の主要地域と高速道路が結ばれスムーズな陸上輸送が可能
- (例: 常陸那珂港区へ高速道路利用の場合) 宇都宮市→80 km 70分 真岡市→70 km 60分
- 高速道路、一般道路などの多くの輸送ルートを選択が可能であり、緊急時の物流ルートの確保が容易
- コンテナヤード、周辺道路の混雑なし、CO₂削減やドライバーの労働時間短縮など、物流効率化を促進

日立港区 ※北海道向け RORO サービスが毎日運航

常陸那珂港区 ※コンテナ貨物が4日でダイレクトにアジアの主要港、上海、釜山へ

大洗港区 ※週3便(京浜 T/S 含む) アジア向けコンテナ貨物の輸出入が可能

鹿島港 ※北海道から唯一の北海道フェリー航路

大洗港区 ※首都圏から唯一の北海道フェリー航路

鹿島港 ■様々なバルク貨物(穀物、原油、その他)の需要に対応